



平成26年2月14日

各 位

会 社 名 ラオックス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 羅 怡 文  
(コード番号 8202 東証 第2部)  
問 合 せ 先 常務執行役員 矢野輝治  
管 理 本 部 長  
( T E L 0 3 - 6 8 5 2 - 8 8 8 1 )

### 業績予想と実績値の差異および特別損失の計上ならびに 繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

平成25年11月13日に公表致しました平成25年12月期(平成25年1月1日～平成25年12月31日)の連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。  
また、併せて特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しについてお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想と実績値の差異について

##### (1) 平成25年12月期通期業績予想値と実績値の差異 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円・銭
前回発表予想(A)	34,000	△2,500	△2,500	△3,500	△6.42
実績値(B)	33,150	△1,664	△1,656	△3,245	△5.96
増減額(B-A)	△849	835	843	254	—
増減率(%)	△2.4%	33.4%	33.7%	7.2%	—
(参考)前期実績 (平成24年12月期)	22,948	△1,430	△1,389	△1,356	△2.49

##### (2) 差異の理由

第4四半期において、中国出店事業で想定よりも売上高は減少いたしましたが、経費の見直しや利益率の改善に努めたこと、また、国内店舗事業で想定よりも売上高が順調に推移したことなどにより、営業利益および経常利益が前回発表予想を上回りました。

## 2. 特別損失の計上について

### (1) 減損損失 701百万円

中国子会社において建物付属設備の減損等により682百万円、当社において賃貸契約満了により退店予定の店舗で転用できない建物付属設備の減損により19百万円を計上いたしました。

### (2) 構造改革損失 529百万円

貿易仲介事業の構造改革にかかる損失として529百万円計上いたしました。

### (3) 訴訟損失引当金 65百万円

訴訟損失引当金として65百万円計上いたしました。

## 3. 繰延税金資産の取崩しについて

最近の業績動向を踏まえ、中国子会社において繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産の一部473百万円を取り崩すこととし、法人税等調整額に計上しました。

以上